

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公表番号】特表2009-508902(P2009-508902A)

【公表日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2008-531609(P2008-531609)

【国際特許分類】

C 07 C 235/42	(2006.01)
C 07 D 333/24	(2006.01)
A 61 K 31/381	(2006.01)
C 07 D 307/68	(2006.01)
A 61 K 31/341	(2006.01)
A 61 K 31/167	(2006.01)
C 07 D 333/40	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 1/04	(2006.01)
A 61 P 31/04	(2006.01)
A 61 P 17/06	(2006.01)
A 61 P 37/08	(2006.01)
A 61 P 17/00	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
A 61 P 9/08	(2006.01)
A 61 P 25/00	(2006.01)
A 61 P 37/02	(2006.01)
A 61 P 11/06	(2006.01)
A 61 K 8/49	(2006.01)
A 61 K 8/42	(2006.01)
A 61 Q 19/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C 235/42	C S P
C 07 D 333/24	
A 61 K 31/381	
C 07 D 307/68	
A 61 K 31/341	
A 61 K 31/167	
C 07 D 333/40	
A 61 P 11/00	
A 61 P 1/04	
A 61 P 31/04	
A 61 P 17/06	
A 61 P 37/08	
A 61 P 17/00	
A 61 P 29/00	
A 61 P 19/02	
A 61 P 9/10	1 0 3
A 61 P 9/10	

A 6 1 P 9/10 1 0 1
 A 6 1 P 9/08
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 P 37/02
 A 6 1 P 11/06
 A 6 1 K 8/49
 A 6 1 K 8/42
 A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

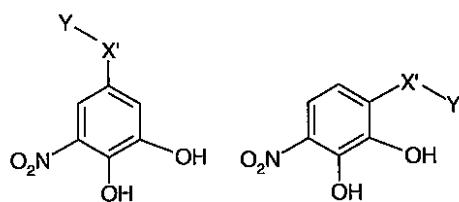
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

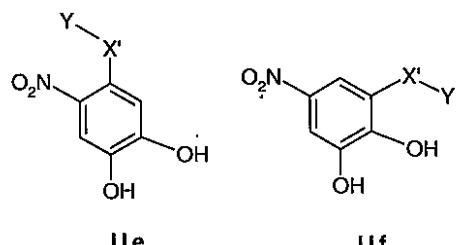
式(IIb)若しくは式(IIc)若しくは式(IIe)若しくは式(IIf)：

【化1】



IIb

IIc



IIe

IIf

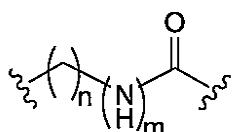
の少なくとも1つの化合物又は該化合物の薬学的に受容可能な塩、エステル若しくはアミド及び医薬に有用な薬学的に受容可能な担体を含む薬学的組成物。

上記式中、

- X' - は、

(a)

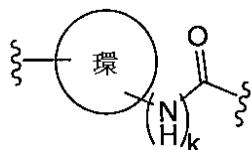
【化2】



であって、ここでmは、0、1であり；nは、1～3の整数であり、

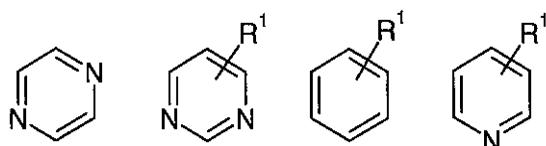
(b)

【化3】



であって、ここで「環」は、

【化4】

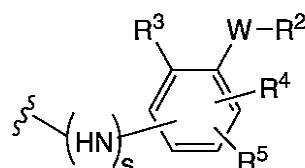


であり、そしてここでR¹は、H、NO₂、CF₃、F、Cl、Br、I、CN、CH₃、NH₂、NHアルキル、NHアリール、NHアシルであり、そしてkは0、1であり、

-Yは、

(a)

【化5】



であって、sは、0又は1であり、

R²は、CO₂H、CO₂アルキル、CO₂アリール、CO₂NH₂、CO₂アラルキル、SO₃H、SO₂NH₂、PO(OH)₂、1-H-テトラゾリル-、CHO、COCH₃、CH₂OH、NH₂、NHアルキル、N(アルキル)アルキル'、OCH₃、CH₂OCH₃、SH、F、Cl、Br、I、CH₃、CH₂CH₃、CN、CF₃であり、

R³は、R²から独立してH、CH₃、CH₂CH₃、CF₃、F、Cl、Br、I、CN、NO₂であり、そしてR⁴は、R²及びR³から独立してH、CH₃、CH₂CH₃、CF₃、F、Cl、Br、I、CN、NO₂、R²であり、

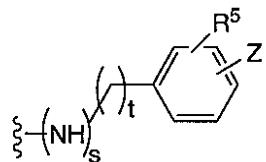
R⁵は、H、NO₂、CF₃、F、Cl、Br、I、CN、CH₃、OCH₃、SH、NH₂であり、

そして-W-は、-(CH₂-)_v、シス-CH=CH-又はトランス-CH=CH-であり、そしてvは、0、1、2であり；

-W-が、シス-CH=CH-又はトランス-CH=CH-である場合には、R²は、NH₂又はSHであってはならず；

(e)

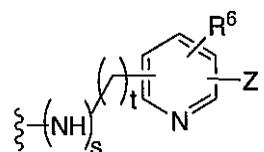
【化6】



であって、ここでtは、0、1、2であり、

(f)

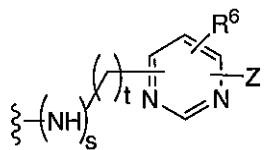
【化 7】



であり、

(g)

【化 8】

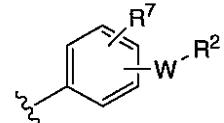


であり、

- Z は、

(i)

【化 9】



であって、R7 は、R2 から独立して H、N O2、C F3、F、C l、B r、I、C N、C H3、O C H3、S H、N H2 であり、

(i v)

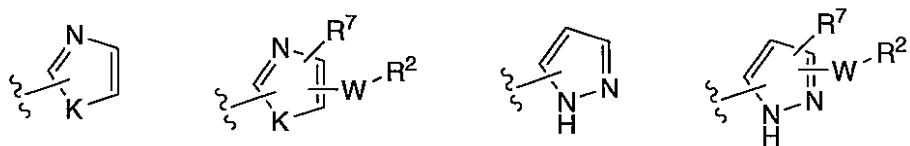
【化 10】



であって、ここで K は、N H、N M e、O、S であり、

(v)

【化 11】

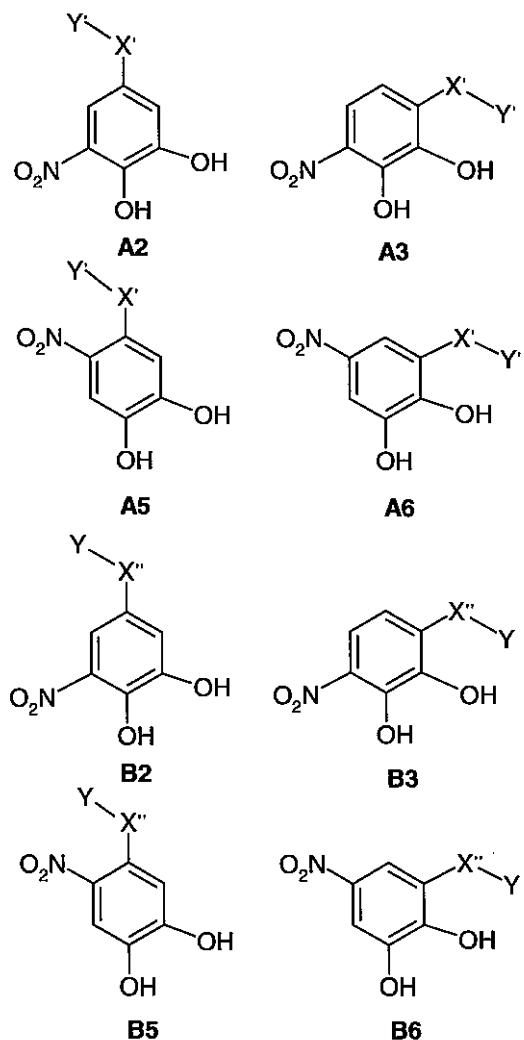


である。

【請求項 2】

化合物が、式 (A 2) 又は式 (A 3) 又は式 (A 5) 又は式 (A 6) 又は式 (B 2) 又は式 (B 3) 又は式 (B 5) 又は式 (B 6) :

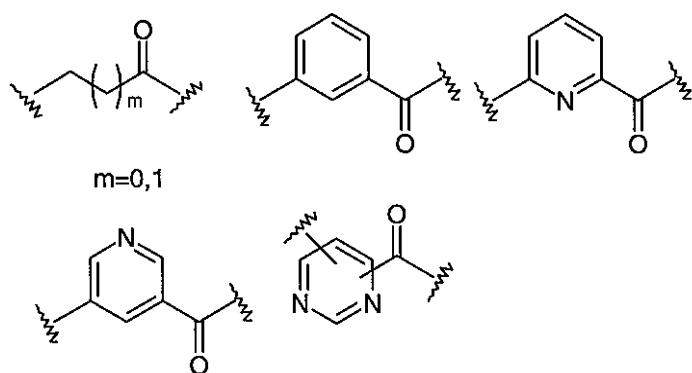
【化12】



によって定義される、請求項1に記載の薬学的組成物。

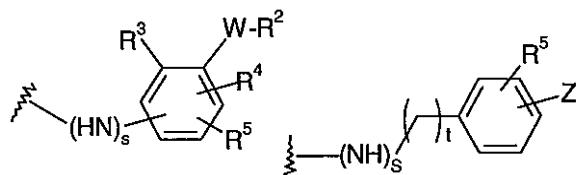
上記式中、-X'-'及び-Y'は、請求項1で定義される通りであり、そして-X''-'-'は、

【化13】



であり、そして-Y'-'は、

【化14】

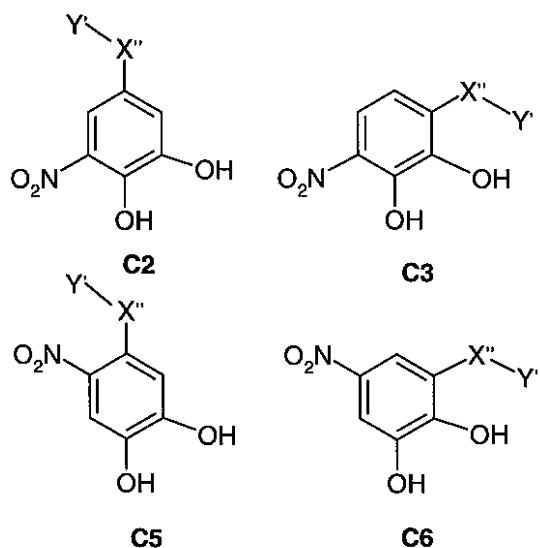


であり、ここですべての指標、記号及び置換基は、請求項1で定義される通りである。

【請求項3】

化合物が、式(C2)又は式(C3)又は式(C5)又は式(C6)：

【化15】



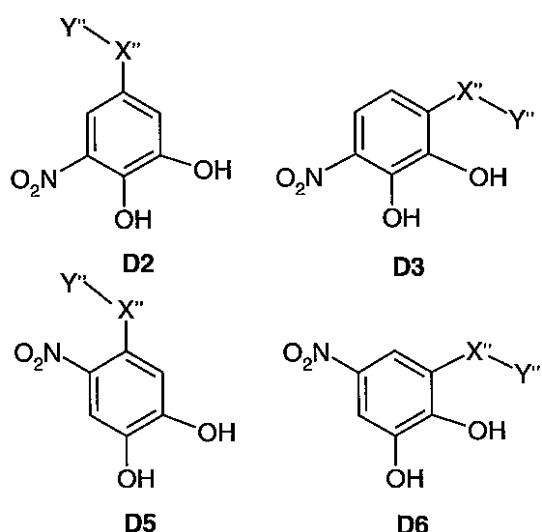
(式中、-X''-Y'は、請求項2で定義される通りである)

によって定義される、請求項2に記載の薬学的組成物。

【請求項4】

化合物が、式(D2)又は式(D3)又は式(D5)又は式(D6)：

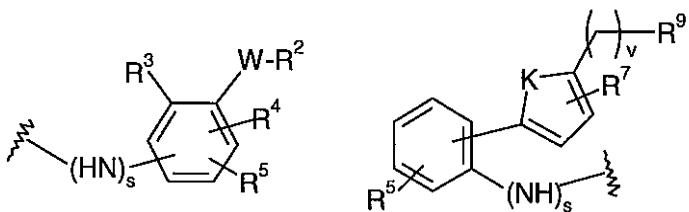
【化16】



で定義される、請求項3に記載の薬学的組成物。

上記式中、-X''-Y'は、請求項2で定義される通りであり、そして-Y''-Y'は、

【化17】



であって、ここでR⁹は、CO₂H、CO₂アルキル、CO₂アリール、CO₂NH₂、CO₂アラルキル、CH₂SO₃H、CH₂SO₂NH₂、CH₂PO(OH)₂、1-H-テトラゾリル、CHO、COCH₃、CH₂OH、CH₂NH₂、CH₂NHアルキル、CH₂N(アルキル)アルキル'、CH₂OCH₃、CH₂SHであり、

ここですべての指標、記号及び置換基は、請求項1で定義される通りである。

【請求項5】

請求項3又は4に記載の式(C2)又は式(C3)又は式(C5)又は式(C6)又は式(D2)又は式(D3)又は式(D5)又は式(D6)の一般構造を有する化学物質。

【請求項6】

慢性閉塞性肺疾患(COPD)、急性肺障害(ALI)、心肺バイパス、急性呼吸促迫症候群(ARDS)、クローン病、敗血症性ショック、敗血症、慢性炎症性疾患(例えは乾癬、アトピー性皮膚炎及び慢性関節リウマチ)、並びに心臓発作、脳卒中、アテローム性動脈硬化症及び器官移植後に生じる再灌流障害、外傷性ショック、多臓器不全、多発性硬化症のような自己免疫疾患、経皮経管的血管形成術、喘息並びに炎症性腸疾患を処置するための医薬の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)、式(IIc)、式(IIe)又は式(IIf)の構造を有する化合物の使用。

【請求項7】

炎症性疾患を処置、診断又は予防するための医薬の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(IIf)の構造を有する化合物の使用。

【請求項8】

診断又は治療の薬剤標的のためのビヒクルの製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(IIf)の構造を有する化合物の使用。

【請求項9】

化粧用組成物又は皮膚科学的組成物の製造のための、請求項1で定義される式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(IIf)の構造を有する化合物の使用。

【請求項10】

請求項1に記載の式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(IIf)の少なくとも1つの化合物及び少なくとも1つの化粧用に許容される成分を含む化粧用組成物。

【請求項11】

請求項1に記載の式(IIb)又は式(IIc)又は式(IIe)又は式(IIf)の少なくとも1つの化合物及び少なくとも1つの皮膚科学的に許容される成分を含む皮膚科学的組成物。